

第6回

国土セーフティネットシンポジウム

— 緊急地震速報の一般利用開始を迎えて —

日時 2007年2月2日(金) 13:00~17:00

場所 横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)
アネックスホール 205・206会場

主催 (独)防災科学技術研究所、日本地震工学会、(NPO)リアルタイム地震情報利用協議会

後援 内閣府、文部科学省、消防庁、気象庁、(財)震災予防協議会、(財)地震予知総合研究振興会、(社)土木学会、(社)日本建築学会、(社)地盤工学会
(予定・順不同)

防災科学技術研究所は、文部科学省の委託を受け、気象庁、リアルタイム地震情報利用協議会、日本気象協会と共同で、緊急地震速報を実用化させるための研究プロジェクトを推進してまいりました。気象庁では、その成果も踏まえて、既に昨年8月より本格運用の先行として分野をかぎった配信を開始しております。さらに、放送による一般利用の実施につきその日程が議論されております。本シンポジウムでは、これから新たに踏み出す一般利用を柱にした緊急地震速報の利用につき、各界の意見を紹介してもらい、参加者との討論をあるいはその種を作る場を提供致しますので、是非ご参加ください。

シンポジウム

時 間	13:00~17:00	定 員	200名 (ホームページより申込 先着順)
場 所	横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜) アネックスホール 205・206会場	参 加 費	2,000円(資料代含む)
講 演 者	プログラムに詳細を記載		



最寄り駅より みなとみらい駅より徒歩3分「クィーンズスクエア連絡口」より、左手奥に進み、赤の長いエスカレーターを利用、そのまま正面のエスカレーターを乗り継ぎ2Fへ、「クィーンズスクエア」を左手にまっすぐ通り抜けます。

お車で越しの方 首都高速横羽線みなとみらいランプより約3分

プログラム

日時:2007年2月2日(金) 13:00~17:00

[司会] 大保 直人 NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会 副会長

- | | | |
|-----------|--------------------|---|
| 1 | 13:00-13:05 | 開会挨拶
森脇 寛 独立行政法人 防災科学技術研究所 企画部長 |
| 2 | 13:05-13:35 | 地震減災対策
池内 幸司 内閣府政策統括官付 参事官(地震・火山対策担当) |
| 3 | 13:35-14:15 | 基調講演 緊急地震速報の一般利用とパニック
目黒 公郎 東京大学生産技術研究所 教授 |
| 4 | 14:15-14:35 | 緊急地震速報の先行運用及び一般への報知
関田 康雄 気象庁地震火山部管理課 地震情報企画官 |
| 5 | 14:35-14:55 | 緊急地震速報及び地震危険度推定の精度向上
堀内 茂木 独立行政法人 防災科学技術研究所 総括主任研究員 |
| | 14:55-15:10 | 休憩 |
| 6 | 15:10-15:30 | よりよい一般利用をめざして
藤縄 幸雄 NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会 専務理事 |
| 7 | 15:30-15:50 | 東京消防庁における緊急地震速報の活用と震災対策
川村 達彦 東京消防庁防災部震災対策担当 副参事 |
| 8 | 15:50-16:10 | 医療機関における利用と一般放送へ向けた検証
堀内 義仁 国立病院機構災害医療センター 災害対応システム研究室長 |
| 9 | 16:10-16:30 | 三重県の地震対策
山岡 正紹 三重県防災危機管理部 地震対策室長 |
| 10 | 16:30-16:50 | 集客施設での緊急地震速報の利用
那須 正 鹿島建設(株) 研究・技術開発本部 小堀研究室 安全戦略研究グループ 上席研究員 |
| 11 | 16:50-17:00 | 閉会挨拶
早山 徹 NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会 副会長 |

独立行政法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1
Tel.029-851-1611 Fax.029-851-1622
<http://www.bosai.go.jp/>

研究内容

地震、火山、水、土砂防災、雪氷、耐震工学に関する研究を行っている。地震研究では、日本全国に整備された基盤的地震観測網から得られるデータを利用し、日本列島直下で起きている様々な地殻活動を的確に把握・評価し、地震発生モデル化、予測に関する研究を行っている。また、緊急地震速報高度化や、地震ハザード評価の研究も行っている。

NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-4ミツヤ四谷ビル5階
Tel.03-5366-2720 Fax.03-5366-2740 <http://www.real-time.jp/>

活動内容

リアルタイム地震情報を有効活用して、関連行政機関や企業、公共施設、地方自治体との協体制づくり、システムやデータの標準化、その他様々な調査や研究を通して、より安心で安全な国民の生活を築いていくことを目指しています。

活動内容

- 1.リアルタイム防災情報に関する調査・研究
- 2.リアルタイム防災情報の啓発と情報普及
- 3.リアルタイム防災情報に関する標準化の検討
- 4.リアルタイム防災情報に関する内外関連機関との連絡調整
- 5.リアルタイム防災情報の提供に関する研究

参加申込
連絡先

参加申込先

NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会
ホームページよりお申し込みください。

<http://www.real-time.jp/>

お問い合わせ先

NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会 担当 高橋 E-mail:reic_info@real-time.jp